

## 前提

妊婦健診は、自治体が委託や補助をした上で、医療機関において実施される場合が多い。健診結果は医療機関から自治体へ情報提供される場合もあるが、多くの情報は医療機関のみに保管されている。

## 主な目的（案）

妊娠中の健康履歴を女性の生涯にわたる健康情報の一部として本人が閲覧し、一元的に自身の健康を管理することにより、健康行動に寄与する。

<具体的な活用例> 子宮頸部細胞診の結果をもとに、定期的なフォローアップをうける  
妊娠糖尿病、妊娠高血圧症候群の罹患既往のため、生活習慣の見直しや定期健診をうける

妊娠中の健康履歴を本人が閲覧し、次回以降の妊娠の際、必要に応じて保健・医療関係者に情報提供することで、適切な妊娠管理に資する。

<具体的な活用例> 風疹ウイルス抗体陰性のため、次回妊娠前に予防接種をうける  
早産既往のため、次回妊娠時に早産リスクに注意した管理が行われる  
災害等による母子健康手帳や検査結果の紛失の際に、正確な情報を保健医療関係者に情報共有する

## 項目の選定方法の考え方（案）

1. 妊婦健診に関する大臣告示及び母子健康手帳の省令様式で示している項目を上限に、
  - ・本人が自己情報として閲覧できることが有用な項目
  - ・次回妊娠の際に本人が医療提供者に対して提示することが有用な項目を標準的な電子的記録様式として定めることとしてはどうか。
2. 最低限電子的に記録すべき情報について、医療機関から情報を得る方法などについて検討を要することから、これらは今後の課題とし、現時点では定めないこととしてはどうか。

## 【考慮する事項】

自治体の事務負担・コスト  
電子化に適した情報であること

医療機関から自治体へ情報提供され、自治体に保存されている情報であること

# 妊婦健診項目の選定方法の考え方について (標準的な電子的記録様式)

告示等に定め実施される項目

標準的な  
電子的記録様式

妊婦健診に関する大臣告示及び母子健康手帳の省令様式で示している項目を上限に、以下の視点で検討をして項目を選定してはどうか。

	検討の視点	議論が必要と思われる項目例
基本的な項目選定基準	<b>本人の健康行動に寄与するものとは何か。</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・毎回行う健診項目</li><li>・必要に応じた医学的検査</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・(記載方法について) 血糖検査・尿糖</li><li>・(記載方法について) 血圧・尿タンパク</li><li>・発がん性の感染症 (HBV、HCV、HTLV-1)</li></ul>
	<b>次回以降の適切な妊娠管理に有益な情報とは何か。</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・出産の状況</li><li>・風疹ウイルス抗体検査</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・娩出日</li><li>・(記載方法について) 分娩方法</li><li>・分娩週数、出生体重</li><li>・(記載方法について) 判定の仕方</li></ul>
	<b>本人が閲覧することに適した情報とは何か。</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・医学的検査の結果</li></ul>
	<b>電子化に適した情報とは何か。</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・問診については入れないこととしてはどうか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・妊婦健診の診察月日</li><li>・歯科所見</li></ul>
選定にあたって留意すべき事項	<b>機微情報とは何か。</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・本人が閲覧することに配慮が必要な情報でよいか。</li><li>・子どもの情報についてはどう取り扱うか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・婚姻の有無</li><li>・発がん性のない性感染症 (HIV等)</li><li>・死産等</li></ul>

# 妊婦健診における標準的な電子的記録様式について（案）

妊婦健診については、大臣告示「妊婦に対する健康診査についての望ましい基準」において医学的検査の実施を定めているが、検査結果に関する記載方法が定まっていない。本人が閲覧することに適した項目の名称及び選択肢について、検討してはどうか。

また、妊婦健診は通常14回程度受診するが、毎回実施する項目については医学的所見や最低限必要な値を入力することとしてはどうか。

## 各回の妊婦健康診査において実施する項目

<現行の項目例>  
(項目)

診察月日 <14回程度>  
(日付入力)

尿糖 (-, +) <14回程度>  
血糖値(選択肢)なし

尿蛋白 (-, +) <14回程度>  
浮腫 (-, +) <14回程度>  
血圧 (mmHg)

体重 <14回程度>  
(妊娠前の体重含む) (kg)

健診の判定結果  
(項目なし)

分娩方法  
(選択肢)なし

<様式案の例示>  
(項目)

(選択肢)

診察月日 日付入力  
全ての妊婦健診受診日を入力する

妊娠糖尿病 1 なし  
2 あり

妊娠高血圧症候群 1 なし  
2 あり

妊娠前の体重 Kg(数値入力)  
最終健診時体重 妊娠前及び出産直前の体重のみとする

判定結果 1 異常なし 2 要指導  
<14回程度> 3 要医療

分娩方法 1 経腔分娩 2 帝王切開  
3 器械分娩(吸引・鉗子)



# 妊婦健診における標準的な電子的記録様式について（案）

## 必要に応じた医学的検査の項目

<現行の項目例> (項目)

A B O 血液型 (選択肢なし)
----------------------

R h 血液型 (選択肢なし)
--------------------

不規則抗体に係るもの (選択肢なし)
-----------------------

風疹ウイルス抗体検査 (選択肢なし)
-----------------------



< 様式案の例示 > (項目)

A B O 血液型	<u>1</u> <u>A</u> <u>2</u> <u>B</u> <u>3</u> <u>AB</u> <u>4</u> <u>O</u>
-----------	-----------------------------------------------------------------------------



R h 血液型	<u>1</u> <u>+</u> <u>2</u> <u>-</u>
---------	----------------------------------------



不規則抗体	<u>1</u> <u>なし</u> <u>2</u> <u>あり</u>
-------	------------------------------------------



風疹抗体	<u>1</u> ワクチン接種要相談 <u>2</u> 免疫あり
------	-------------------------------------

判定については参考資料3参照

血算 (記載方法なし)
----------------



ヘモグロビン	<u>g/dl</u> (数値入力)
ヘマトクリット	<u>%</u> (数値入力)
血小板	<u>万/<math>\mu</math>l</u> (数値入力)

B型肝炎抗原検査 (選択肢) なし
----------------------



B型肝炎抗原検査	<u>1</u> <u>-</u> <u>2</u> <u>+</u>
----------	----------------------------------------

子宮頸がん検診(細胞診) (選択肢) なし
--------------------------



子宮頸がん検診判定結果	<u>1</u> 異常なし <u>2</u> 要経過観察 <u>3</u> 要精密検査
-------------	---------------------------------------------------